

おこへ



町の花ハマナス



町の木ナナカマド

議会だより

第146号

平成28年11月15日

発行／☎098-1692 紋別郡興部町旭町 興部町議会

TEL (0158) 82-2135
FAX (0158) 82-2990

編集／議会広報特別委員会



興部カラオケ同好会

第3回町議会定例会 P2～3

町政ここが聞きたい..... P4～5

総務社会・産業建設常任委員会所管事務調査報告... P6～7

道内行政視察報告 P8～9

決算認定・議員活動報告・編集後記 P10

平成28年 第3回 町議会定例会のあらまし

平成28年第3回町議会定例会は、9月14日(水)開会され、町長の行政報告、承認1件、議案9件、認定1件、同意2件、報告1件、発議1件、計15案件が審議されました。

町長行政報告

大雨暴風による被害

8月20日から21日の台風11号、8月22日から23日の台風9号の北海道への接近・上陸に際しては、断続的に雨が降り続き、特に23日は早朝より雨足が強くなり、午前6時からの3時間で64mmの雨量を記録しました。町は、災害対策連絡本部を設置し、興部・沙留自主避難所の開設、住宅冠水・道路維持管理などへの応急対応及び災害対策を行いました。幸いにも人的被害はありませんでしたが、雨水流出による道路法面崩落等の大小被害が各地で発生しており、応急対策及び復旧事業につきまして、順次、修繕・復旧工事を行っております。

年金生活者等臨時福祉給付金給付事業

賃金引上げの効果が及びにくい所得の少ない高齢者

の方への支援や、個人消費の下支えを図ることを目的に給付された高齢者向けの「年金生活者等臨時福祉給付金」については、4月18日から7月19日までの間で申請受付を行い、8月30日の支払いをもって事業を完了しました。最終の申請者数は、469人で、申請率は、2%でした。

妊産婦安心出産支援事業

初産婦が出産できる産科医療機関が近隣にないことから、町内在住の妊産婦は、名寄市立総合病院をはじめ、遠方の分娩可能な医療機関への通院を余儀なくされています。このような現状を踏まえ、妊産婦の経済的な負担の軽減を図るとともに、安心して出産できる環境をつくるため、「興部町妊産婦安心出産支援事業実施要綱」を制定し、健康診査や出産準備での通院にかかる交通費等の助成を、本年4月1日に遡及して実

施します。

新中学校校舎整備事業

8月10日に実施設計業務が完了し、9月12日に建築主体工事及び電気設備工事、機械設備工事のほか工事監理業務に係る入札手続きが終わりました。

英語指導助手の受入

カナダ アルバータ州 エドモントン市出身のケント・ラスムセンさんは、8月3日着任後、各学校で英語指導として務めています。

農作物の作況

一番牧草で、一部干ばつや低温の影響を受けたが、全体では平年より草丈が高く、4日早い生育でした。二番牧草は、お盆以降の悪天候、台風により収穫作業が大幅に遅れ、収穫作業の終了は9月中旬までずれ込む見込みです。また、牧草の栄養価、品質についても、刈り遅れによる栄養価の低下、台風等による倒

伏、浸水による品質劣化が見られます。飼料用トウモロコシは、低温による生育不良が懸念されたが、その後の天候の回復や8月の台風通過の際に、幸いにも強い風が吹かなかつたことから、順調に生育しています。

生乳生産の状況

8月31日現在3万8千496tで、計画対比102.7%、前年対比102.4%となっています。

林業関係の状況

下刈・間伐・植栽などの保育事業については60%の進捗状況となっています。



飼料用トウモロコシ収穫作業

漁業生産の状況

8月末現在、全体水揚量は6千358tで、前年同期比1千481tの増となっています。主な漁獲量については、毛ガニ漁は計画対比100%の114tで、漁獲許容量は前年と同数量で全量消化し、7月19日に漁を終えています。

ホタテ漁は計画対比90%の6千473t、前年同期比1千225tの増です。マス定置網漁は7月23日水揚げが開始され、前年同期比171t増の275t、サケ定置網漁は9月4日より水揚げが開始されており、漁獲量及び価格ともに、今後の好漁を期待します。

専決処分を承認した案件

○平成28年度興部町一般会計補正予算
(専決処分第1号)

補正額は5千624万円を追加し総額43億9千804万9千円とした。

補正内容は、8月に発生した台風被害に係る復旧等に伴う経費。

一般会計補正予算(第2号)

補正額は3千291万6千円を追加し、総額44億3千96万5千円とし、原案どおり可決した。

歳出の主なもの

○情報セキュリティ強化対策業務委託料
1千400万円増

○興部町水産加工業緊急経営安定化支援対策事業補助金
210万円増

特別会計補正予算

特別会計2会計で補正予算が提案され、原案どおり可決した。

○興部町国民健康保険事業特別会計補正予算
(第2号)

補正額は1千188万7千円を追加し、総額7億2千164万7千円とした。

補正内容は、平成27年度分療養給付費等負担金清算による返還金の増額等。

○興部町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

補正額は6億82万円を追加し、総額2億8千643万2千円とした。

補正内容は、平成27年度介護給付費清算による償還金の増額。

制定された条例

○興部北興バイオガスパラント設置及び管理条例の制定

その他議決された案件

○網走地方教育研修センター組合規約の一部変更

○興部中学校建築主体工事請負契約締結
契約金額
7億6千453万2千円

○興部中学校機械設備工事請負契約締結
契約金額
1億4千796万円

○興部中学校電気設備工事請負契約締結
契約金額
1億2千96万円

報告された案件

○平成27年度普通会計等財政健全化判断比率及び公

営企業会計資金不足比率の報告

教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、菅原博氏・堤田克彦氏を任命同意した。

意見書の採択

○林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 前田 義雄議員
賛成者 阿部 昭一議員

賛成者 藤渡 昭博議員
賛成者 松川 雄一議員

賛成者 竹内 清議員
賛成者 竹内 清議員

町政ここが聞きたい!!

問

町内に高齢者福祉施設が必要では
小泉優子議員
今年度中に方向性を出します

答

裕 一寿町長



小泉議員

議会と町民の意見交換時に興部町に住んでいて将来を考えると、とても心配になる。自分自身が働けるうちに、他市町村の施設入居又は子供の近くへ転居すべきか、とても強い老後不安を感じていると言います。町長のご所見は。

裕町長

優先順位として下水道の普及を優先。今後は在宅でということでは推

移した経過があります。「きらり」周辺に病院、老人住宅の計画も過去にありましたが「きらり」地域は海抜が低い所であり問題です。

小泉議員

高齢者下宿、高齢者生活支援ハウス、西興部興楽園、紋別市特養、老健施設すべて満床です。西興部興楽園は待機者が42名となっており、紋別市の施設も待機者がおり、25名です。町内にショートステイ利用できる入居施設が必要ではないか。

裕町長

高齢者下宿、「きらり」での生活支援ハウスで入居者のお世話をしています。認知症に近い方が増えています。西興部興楽園でのショートステイ

用ベッド8床から2床対応となり、興部国保病院でのやりくりを進めているところ。ショートステイの受皿が無く、在宅介護に問題が生じていること、認知症対応のショートステイに対しても万全な体制になっていない。介護度の低い方の受皿も少なくなっている。特養は要介護度3以上の方は入所しやすく、要介護1、2については市町村が計画を作って対応することになる。高齢者下宿、生活支援ハウスへの入居希望者が多く、病院療養病床18床の有効活用で施設利用できない方を受入れようとして、医療度の低い方が長期間入院すると医療保険で医療費削減となり病院運営に支障をきたすことになります。

小泉議員

最近の方針でもあり、地域密着型施設が多くなっている。居住地域に住む人しか利用できず、また小規模多機能事業所などは登録制で登録した人し

用ベッド8床から2床対応となり、興部国保病院でのやりくりを進めているところ。ショートステイの受皿が無く、在宅介護に問題が生じていること、認知症対応のショートステイに対しても万全な体制になっていない。介護度の低い方の受皿も少なくなっている。特養は要介護度3以上の方は入所しやすく、要介護1、2については市町村が計画を作って対応することになる。高齢者下宿、生活支援ハウスへの入居希望者が多く、病院療養病床18床の有効活用で施設利用できない方を受入れようとして、医療度の低い方が長期間入院すると医療保険で医療費削減となり病院運営に支障をきたすことになります。

議会の動き

平成28年8月4日以降

8月4日 議会広報委員会

9日 オホーツク圏活性化期成会要望

14日 魚霊祭・海上遭難者供養及び灯笼流し

27日 遠紋地区市町村議会議員。パークゴルフ大会

9月5日 全員協議会

9日 議会運営委員会

14日 敬老会

〃 第3回町議定会定例会(1日目)

〃 決算審査特別委員会(1日目)

〃 議会広報特別委員会

15日 決算審査特別委員会(2日目)

16日 第3回町議定会定例会(3日目)

〃 全員協議会

20日 第2回広域紋別病院企業団議定会定例会

か利用できず、施設の無い興部町民は利用が難しい環境になっている。

裕町長 西興部興楽園にお世話になっている部分もあり連携は崩したくない

問 農家の大型投資に対する町の支援について
答 産業の支援体制を今後検討していく



藤渡議員

現在、興部町の酪農家戸数は66戸、肉牛等の畜産農家は5戸で合計71戸、毎年5万t前後の生乳を生産するまでになりました。しかし、TPP等の問題もあり将来に不安を抱える農家も少なくありません

し、国保病院療養病床で対応していくためには職員の増員もしなければならなく、平成30年に向け提案し、今年度中に方向性を出します。

裕 一寿町長

ん。そこに追い打ちをかけて、今の建設コスト高があります。北オホーツク農協も農業振興計画を立て、所得向上支援対策として本牛舎の新築に対し上限1千万円の助成など、様々な支援策に取り組んでいます。更に町が支援策を講じることで農家の投資を促し、そのことが地域の維持、発展に繋がると考えます。また、興部町には多くの農業後継者が戻ってきており、将来設計を描き、実現に向け努

力しています。若い力が新しい発想で地域を考え、地域農業を考え、これから大きな投資の時期を迎えようとしています。平成27年で農家が雇用している人数は29戸で81人、将来的に更に増え新しい雇用の場としても期待をします。道内の自治体はもとより西紋管内の自治体においても、様々な形で農家の大型投資に対し支援しています。興部町が農業の大型投資に対し個人、法人の枠にとらわれず支援することで地域農業を振興し、活力ある地域をつくるのが、町の活性化に繋がると考えます。

裕町長

酪農の振興が住民の雇用や人口を増やしていることは間違いないと思います。次の担い手をどう確保して今の生産を維持して興部町の基幹産業を守っていくかという事は同じやり方ではなかなか難しいと思われ、今後、農協とも話しをしたり、議会にも議論頂いたり、町民の理解を

頂いたうえで、新しい形の農業を守るための支援をどのようににするかは考えた。興部町も色々な議論をしながら新しい時代の酪農の体系をどのようにに町として支えていくのか、片方では漁業もあり、林業もあり、そして商業もあります。そういうことも含めて担い手が残るような産業の支援体制を産業振興課に指示しており、今後検討していかなければならない。そのような議論の中で農業はどうするのかという話をしていきたい。



21日	乳牛感謝祭並びに牛馬祭
23日	紋別ブロック交流ゲートボール興部大会
26日	遠紋地区町村議会事務局長研修会
10月1日	札幌おこっぺ故里会総会・懇親会
2日	おこっぺ牛乳の里マラソン大会
4日	オホーツク町村議会役員会
6~7日	合同常任委員会道内行政視察
10~14日	総務社会常任委員会道外行政視察
11~12日	北海道町村議会事務局長研究会
18~20日	遠紋地区市町村議会議長会道内行政視察
21日	興部中学校建設工事安全祈願祭
27日	議会広報特別委員会

所管事務調査報告

総務社会常任委員会

総務社会常任委員会は、平成28年7月27日興部町内に有る高齢者施設、高齢者下宿ときらり内に有る高齢者生活支援ハウスについて担当課より現状、利用状況等について説明を受けた後、施設を視察しました。

高齢者下宿は昭和51年、ことぶき福祉寮として開設、昭和59年増築し興部町老人福祉寮となっております。平成15年老朽化した一般居室等の大改修をしています。居室は7畳弱で狭いと言われていますが、11室満室状況にあります。

高齢者生活支援ハウスは一人用居室12室、夫婦用居室4室、計20人が入居し満室となっております。空室ができ、入居募集すると1室に対し4、5件の入居応募

募があるようです。入居時は自立者から要介護2までの人が基準となっておりますが、入居後要介護状態が高くなり他施設への転居を要請しても受入れ施設が難しく現在要介護4が1名、要介護3が3名入居中のことです。

興部町の今後の高齢者施設計画では高齢者下宿の移転改築と高齢者生活支援ハウスの増築となっております。しかし、国の方向性としては地域の高齢者施設は地域内住民のみの利用可能となる地域密着型となっている。町内の施設においても要介護状態が高くなった時、受入れ施設が難しくなっていると考えられる。認知症対応要介護状態が高くなっても安心して入居でき

る施設の整備が急務と考えます。

(記…総務社会常任委員会
委員長 小泉 優子)



31日 ほたて貝漁業切上直会

11月3日 功労者表彰式

8日 議会広報特別委員会

8月10日 町村議会議長全国大会

// 高規格幹線道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会秋要望

8月10日 高規格幹線道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会秋要望



所管事務調査報告

産業建設常任委員会

「空き家等対策の推進に関する特例法」が今年の5月26日に完全施行となり、そのような中、空き家対策として、町として現在どの程度まで取り組んでいるのか、また、調査状況はどうか、空き家対策特別措置法等と合わせて、7月22日に調査しました。

現在町としては、市町村における空き家危険家屋に関する作業フローがあり、その作業フローにのっとり作業を進めているとのこと。消防空き家台帳による目視調査・住民、町内会等からの連絡・空き家の住所、所有者の把握・住民票、戸籍謄本等の情報の確認・固定資産税情報の内部利用等により、空き家危険家屋の確認・所有者の把握を進め

ていて現在22件ほどの空き家に対して所有者・配偶者のわかつているところについては、対応中とのこと。また、他の市町村の状況等についても調査中であるとのこと。町としては、条例整備の検討・緊急安全代行措置の検討・特定空き家の認定会議をするとのこと。

いずれにしても、最近は異常とも思える気象状況であることから、空き家危険家屋に対しては、周辺の生活環境の保全を図るため、早い時期に何かしらの対策が必要です。今後においても担当課と打ち合わせをしながら進めて行かねばならないと考えています。

(記：産業建設常任委員会
委員長 阿部 昭一)



主役はあなたです！

議会を傍聴してみませんか

○次回定例会は 12月です○

手続きは、傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけ

道内行政視察報告

鷹栖町行政視察報告

鷹栖町における学童保育について



する道内有数の米産地であります。

人口は、1990年6千930人と減少傾向にあったが、2000年から7千165人と回復し2016年6月では7千156人となっており中心部からJR旭川駅まで25分という利便性の高さで旭川のベッタウンとして安定した人口を確保している。

子と親を支える学童保育は、道内に設備や職員数を定めた厚生労働省の基準を満たす放課後児童クラブがあるのは、179市町村中162市町村で運営手法は地域によって異なり公設民営型もあれば、市町村の直営もある。

鷹栖町の子育て支援施策は

1、安心して子供を生み育てやすい環境づくり。

妊娠・出産期から乳幼児期の切れ目のない支援。

2、子供たちが健やかに成長できる保育環境の充実。就学前期の保護者のニーズに応じた安心安全な保育サービスの充実。

3、放課後の子供たちの安全な居場所づくり。

学童期での共働き家庭でも安心して働くことのできる環境の整備。

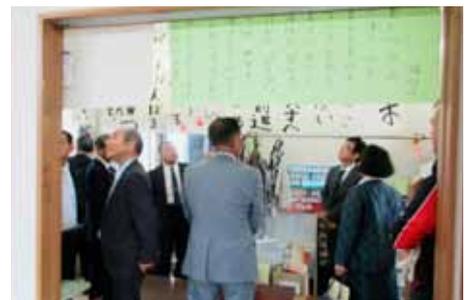
3本の柱を支援施策している。

鷹栖町の学童保育施設の運営主体は、公設民営のNPO法人4施設と私立幼稚園1施設の5施設で運営されている。町は家賃や人件費、光熱費など年間約1千900万円を補助している。平成27年度対象児童は鷹栖小学校区域・北野小学校区域に通う児童の501人のうち204人、4割に

当たる児童が放課後児童クラブを利用している。

視察場所、NPO法人「なんたらカンタラ」が運営している放課後児童クラブ「カンタラモッチ」に案内され、水田に囲まれた川沿いの2階建ての施設で、室内には漫画・玩具などが所狭しと並んでいました。

モットウとしているのは、「子供たちはみんな子育てよう」子供時代にとことん遊び、とことん関わり合える場を提供したい、そんな願いを持った親たちでこの場所づくりが始まりました。これまで数えきれない子供たちが沢山の物語を生み、みんなで育ちあってきました。年齢の違う子供同士の関わり合い、そして自分を見守ってくれる大人たちに囲まれ、毎日を積み重ねていく6年間は、子供たちがその後の人生を歩ん



カンタラモッチ視察

でいくための大きな力となっています。かけがえのない子供時代、子育ての時間をみんなで共有しあいながら、この場を創っている。

NPO法人は児童の親全員が会員である。視察を終える頃、低学年の生徒数人が「ただいま」という元気で大きな声で帰ってきました。その声は、自分の家に帰ってきたときのような感じが致しました。子供たちが家庭と同じようにくつろげる場所であることを大切にしていきますという、指導員のお話が印象的でした。

(記・総務社会常任委員会)

矢野 幸三

ぎよれん総合食品(株) 行政視察報告

水産加工食品の流通について

全道74漁業協同組合を統括した「北海道漁業協同組合連合会」(漁連)が100%出資し、新鮮な道産水産物を一次・二次加工し全国へ消費地型物流事業を展開する「ぎよれん総合食品株式会社」に、10月7日小樽市銭函工場を視察見学した。平成7年会社を設立し平成8年3月より操業を開始、工場施設増設・資本金の増資・最新主要機器の増設を経て現在に至ったとの説明を受けた。加工センター第一工場では、北海道内秋鮭の集中加工拠点として、ドレス・フィーレ製品等に加工するなど産地と直結した取り組みを行い、カッターマシン、フィレットサイナーなどの機器が設備され、冷凍秋鮭ドレス、フィー

レ・冷凍たこ・干ししゃも・塩さんまを生産。第二工場は、鮭フレークのほか、醤油いくら・たらこ・塩数の子などの魚卵製品を中心とした消費者向けの製品生産。機器には最新鋭のトンネルフリーザー、スチームボックス、回転式真空機が装備されていた。また、食品工場では、新鮮な道産水産物をフライ・冷凍食品に加工し生協、量販店などを通じ消費者にお届けする事とし、ほたて・秋鮭・その他魚介フライ・から揚げ等冷凍食品を生産。9～11月は、全道からの鮭を入荷、当日もトンネルフリーザー、スパイラルフリーザー、ピロー包装機をフル稼働し、秋鮭フライの生産がされていた。ただ今年は、ほたて貝の品薄と高騰、秋鮭の不漁に生産量は例年より少ないということである。9月下旬、沙留漁協からの鮭を加工。今日現在の加工は、斜里漁協の鮭であるようだ。食品工場の

もう一つ昆布加工ラインは、昆布生産量の全国9割以上を占める北海道で、その昆布に付加価値を付けるため、昆布の二次加工に取り組み、高速昆布切断機、風力選別機、金属検出機、砂取り機を装備、大手食品メーカーへ販売。250人の社員の80%が女性でなおかつ高齢化。人材確保が問題だとの事で、ベトナムからの研修生を受け入れるのも事情のようです。興部町沙留出身者も在籍していた。いずれにしても、一次産業漁業関係者が「一次・二次加工に取り組み、付加価値を付ける」事は十分分かってはいても現実的に困難なことで「北海道漁業協同組合連合会」を主体とした「ぎよれん総合食品株式会社」の活動が全道の漁民の期待となつていくだろう事を感じられた。

(記…産業建設常任委員会 松川 雄一)



水産加工施設視察



ぎよれん総合食品(株)行政視察

議員活動報告

議会全員協議会

議長 山川 孝義

9月5、16日協議会を開催し理事者及び所管課から説明を受け、質疑を行った。

9月5日

- 教育委員の任期について
- 新興部中学校建設に係る式典事業等について
- 新興部中学校校舎整備事業に係る「工事監理業務

委託料」について
○妊産婦安心出産支援事業について

○平成28年度臨時福祉給付金及び障害・遺族年金受給者向け給付金について

○興部町水産加工業緊急経営安定化支援対策事業に係る補正について

○興部北興バイオガスプラント設置及び管理条例(案)について

平成27年度各会計歳入歳出決算認定

平成27年度興部町各会計決算認定は、議員全員による決算審査特別委員会が設置され、委員長に佐藤吉春委員、副委員長に小泉優子委員を選出した。同委員会は、9月15日に全体会議方式で詳細に審査を行い、採決の結果、原案どおり認定した。

ひとくちメモ

○決算認定

議会が、一会計年度の歳入歳出予算の執行の実績である決算について、その内容を審査した上で、収入・支出が適法かつ正当に行われたかを確認すること。

○(仮称)興部町再生可能エネルギー発電設備設置促進条例(案)について
9月16日

○し尿処理施設整備計画に係る今後の対応について

議会運営委員会

委員長 佐藤 吉春

9月9日委員会を開催し次の事項について審議した。
9月9日

○平成28年第3回議会定例会について

編集後記

「やって見せ、言ってみせて」
「やらねば人は動かじ」
海軍連合艦隊司令長官山本五十六氏が、戦前海軍のエリートを指導した時の言葉で、今から80年前の若者に表した言葉が、現代の若者にそのまま当てはまる事が驚きだが、現代の若者にはさらにもう一言、「お願いしますからやってみてください」が付け加わるような気がする。

人材育成には時間と忍耐と耐久力が必要で、決して癩癩を起こしたりしてはいけない。怒鳴りつけると、すぐに辞めてしまう。近年少子化の兆候が顕著に現れ、また求人倍率が上がり、上司や会社経営者は、即戦力を望んでいるが、思うようにはいかない。冒頭の言葉には続きがあり「話し合い、耳を傾け承認し、任せてやらねば、人は育た

ず」「やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず」……!

自分が社会に出た時を思い返すとき、周りにこのような言葉を実践して指導してくださる上司がいなかったような気がするが、皆さんは如何……!

(記…佐藤吉春広報委員)

- | | |
|---------|-------|
| 広報委員長 | 藤波 昭博 |
| 副委員長 | 松川 雄一 |
| 委員 | 阿部 昭一 |
| 委員 | 佐藤 吉春 |
| 委員 | 竹内 清 |
| 議会事務局長 | 日下 学 |
| 議会事務局主査 | 八木 実央 |

